

秦野市立 桜土手古墳展示館 だより

Vol.56 SAKURADOTE ARCHAEOLOGICAL MUSEUM

平成 28 年度 冬-B

はだの史・発見展

「絵図で見る 江戸・明治時代の秦野」

桜土手古墳展示館では、市内の文化財や歴史への市民の皆様の理解を高めるため、テーマを決めて定期的に特別展を開催しています。

今回は、秦野市教育部生涯学習課文化財担当が所蔵する江戸・明治期の絵図(実物)16点を現代の空撮写真や白地図と共に展示いたします。



大きさ六畳の大絵図など絵図の実物を展示!!

日 時 平成 29 年 2 月 7 日(火)から

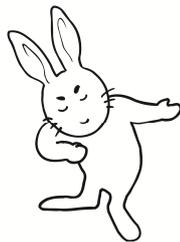
平成 29 年 3 月 12 日(日)まで

午前 9 時から午後 5 時まで(入場は 4 時 30 分まで)

場 所 桜土手古墳展示館 1 階映像室 入場無料

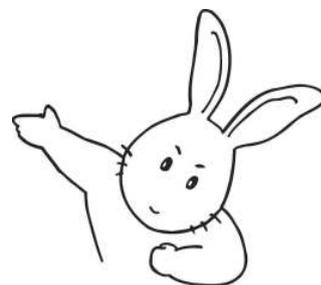
展示内容

前述の絵図のほか 秦野市史刊行物の紹介コーナーを設けています。秦野市史 2巻 近世1、秦野市史第3巻近世2、秦野市史通史2 近世、図説・秦野の歴史、秦野市史研究6、秦野市史研究8、秦野市史研究11 など近世の秦野に関する刊行物を展示し販売もいたします。



ミュージアムさくら塾 第6回開催のお知らせ

桜土手古墳展示館では多くの方々に秦野の歴史や考古学について関心をもっていただくことを目的とした「ミュージアムさくら塾」を開催しています。この塾では専門家をお招きして6回シリーズで歴史と考古学のお話を聞きます。平成28年度 第6回「ミュージアムさくら塾」を下記のように行います。



日 時 平成29年2月18日(土) 午前10時から正午
場 所 桜土手古墳展示館 映像室
申し込み 当展示館にご連絡ください 先着70名様
参加費 100円

講師 榎田和幸氏(元市史編さん担当職員)

内容 絵図で読み解く秦野のすがた

「はだの史・発見展 絵図で見る江戸・明治時代の秦野」との
関連講演として江戸時代から明治時代にかけて描かれた市域の絵図
(古地図)を用いて、当時の秦野の様子を解説します

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

各イベントについては 事前に秦野市のホームページ(展示館のページ)と
(秦野市ホームページ→教育・スポーツ・市民活動→文化・芸術→秦野市立桜土手古墳展示館)市の”広
報はだの”に掲載します。

展示館 だよりミニレクチャー 秦野の原始・古代の遺跡めぐり「縄文時代編」

今回は2011年の展示館だよりに掲載した秦野の歴史についての解説の第2回目の再掲載です。



縄文中期 深鉢

1万6千年前に土を捏ね焼いた「土器」の発明
によって、煮炊きができるようになり、あく抜きや
殺菌の効果を食品にもたらし、それまで食べられ
なかったものを衛生的に食べられるようになりました。
土器の発明をもって「先土器時代」から「縄文

時代」の画期とされています。縄文時代は「草創
期」「早期」「前期」「中期」「後期」「晩期」の6つに
分けられています。

当時の気候は約1万2千年前から徐々に暖か
くなり、一時気温が低下しますが、8千年前ごろ
から再び気温が上昇し海面の上昇がみられました。
この海面の上昇は「縄文海進」と呼ばれ6千年前
の前期にピークを迎えました。秦野市域までは海
面は上昇しませんでした。平塚市と金目周辺ま
で海面が上昇していたようです。その後は再び
徐々に気温が低下し、現在とほぼ同じ気温と海面
高さになりました。

秦野の縄文時代の遺跡は100遺跡以上確認さ
れています。発掘調査の行われた遺跡から縄文
時代の秦野の様子をみてみましょう。

草創期の遺跡は、山台遺跡や大岳院遺跡など
数遺跡が確認されていますが、土器は伴わず尖
頭器と呼ばれる槍の先が出土しています。豊かな
自然が広がる秦野は良い狩場だったのかもしれま
せん。早期、前期では当時の村だったと思われる
集落遺跡は少なく、秦野盆地にはあまり人が住ん

でいなかったようです。中期になると、遺跡数が多くなり、上大槻の東開戸遺跡や今泉の今泉遺跡群などで、当時の村が確認されています。東開戸遺跡では、土坑からヒスイ製の大珠(装身具)が出土しています。後期になると石をたくさん使った遺跡が多くみられるようになります。お墓を石で囲んだ配石墓が大岳院遺跡や寺山遺跡で多数確認されています。その他にも柄鏡形の竪穴建物跡の床面に平らな石を敷いた敷石住居と呼ばれる建物跡も確認されています。このような石を多く利用する文化は中部甲信地方に多くみられます。現在秦野は湘南地域に属していますが、その当時は海の文化というより山の文化の影響が強い地域だったと考えられます。



縄文中期深鉢

後期の中ごろ以降、神奈川県域では遺跡数が減少し、晩期では遺跡数は極少数のみしか確認されていません。秦野には、この時期の著名な遺跡として「平沢遺跡」が知られています。平沢遺跡は、縄文時代の終わりから弥生時代の初頭の遺物が豊富に出土しています。神奈川県域の縄文時代

から弥生時代への移り変わりを明らかにするうえで学術的に価値がある遺跡です。

約 2800 年前に九州北部に大陸から伝わった、水稲耕作とその文化によって、狩猟採集社会は水稲耕作社会へと変化をもたらしました。その変化の波は、九州から遠いこの秦野にもやってきたのでした。(弥生時代編へ続く)

(この記事は2011年の展示館だよりに掲載したものの再掲載です)

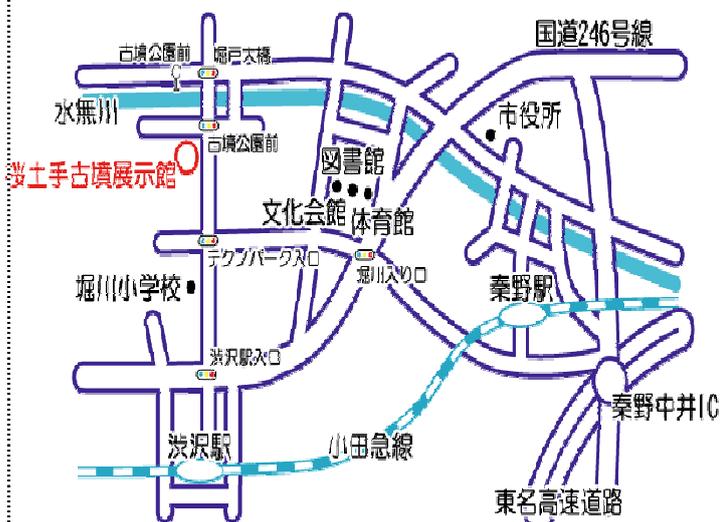


縄文 中期～後期～晩期 出土品

最新の情報:

平成 29 年 1 月現在、新東名高速道路建設工事に伴う発掘調査が行われており、柳川竹上遺跡からは縄文時代中期の集落などが発見されました。さらにこの遺跡からは縄文時代草創期の石器・早期～前期土器と各時代の遺物が出土し、遺跡は各時期を通じて人々の足跡があります。なかでも前期後期の北白川下層式土器は、東海・中部地方に分布の主体がある土器で、当時の人々の広範囲な交流を示すものです。

(掲載写真の品物は常設展示しています)



<桜土手古墳展示館へのアクセス>

- ☆小田急線渋沢駅北口より徒歩 20 分
 - 〃 バス秦 54 秦野駅行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
 - 〃 バス秦 08 秦野駅行「桜土手」下車 徒歩 10 分
 - 〃 渋 05 高砂車庫前行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
- ☆小田急線秦野駅北口より
 - 〃 バス秦 54 渋沢駅北口行「桜土手古墳公園」下車徒歩 2 分
 - 〃 バス秦 08 渋沢駅北口行「桜土手」下車 徒歩 10 分
- ☆ 入館無料 開館時間午前 9 時～午後 5 時(月曜休館) 駐車場有

桜土手古墳展示館だより Vol. 56 号 冬-B 号

発行日 平成 29 年 2 月 6 日

編集発行 秦野市立桜土手古墳展示館

〒259-1304 神奈川県秦野市堀山下 380-3

TEL 0463-87-5542 FAX 0463-87-5794

<http://www.city.hadano.kanagawa.jp/bunkazai/sakura-kofun.html>